



十中だより

令和3年3月5日
文責 奈加晃典

めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

校訓

自主 協働 剛健

卒業おめでとう!!

とうとう3月という時期がやってきました。3年生はあと数日で卒業ということになります。まずは、義務教育卒業おめでとう！。毎年思いますが、春の訪れは別れと出会いがあり、嬉しくも寂しくもある時期です。

3年生のみなさん、自分の3年間を思い返してみても、どうですか？頑張れたこと、もう少し努力したほうがよかったと思えること、嬉しかったこと、悲しかったこと・・・目をつむれば色んなことが思い出されるのではないのでしょうか。

いよいよこれからは、用意されたレールを進むのではなく、自分が選択した道を歩いて行くことになります。

十津川村で生まれ、十津川村で育ち、十津川中学校を卒業したことを誇りに思って、頑張ってください。

よく「努力は必ず報われる」といいますが、厳しいことを言えば、努力したからといって、必ず目標や夢がかなうのとは少し話が違います。野球部に入って、精一杯努力したからといって、皆がプロ野球選手にはなれません。精一杯勉強したからといって、思い描いている将来が手に入るとも限りません。「努力は必ず報われる」「努力は人を裏切らない」という言葉は、たとえ努力が結果には結びつかなかったとしても、その時努力したことは、自分の中に確実に残っているということです。その努力した頑張りは、必ず違う場面でも活かされるのです。

1月の学校だよりでも書きましたが、竹のように強くしなやかに生きて下さい。竹は、あの「節」があるからこそ、柔らかくても、折れずに風雪に耐えることができます。今まさに、3年生のみなさんは大きな「節目」にあると思います。

これからの長い人生の中では大きな「節目」が何度か訪れます。結果は先に見ることはできません。その時選んだ道を後悔しないよう、全力で頑張らしましょう。

いつかどこかで、活躍しているみなさんに会えることを楽しみにしています。



3年生のみなさんが、入学したときの写真です。私は3年生になった君たちしか見ていませんが、表情にもどこか、あどけなさが見られます。さすがに今の君たちは成長したんだなあと感じます。



ひな祭り

3月3日はひな祭りでした。「桃の節句」「女の子の節句」とも言われます。昔は、立派なひな人形を飾っていた家が多かったですが、最近はどうなのでしょう。マンションなどに住む人も多くなって、小さいのが主流になってきているかも知れません。

昔、中国ではこの日に水で身体を清める習慣があったのですが、人形に自分の厄災を移すことや、貴族の間で広まった「ひいな遊び」という人形遊びが結びつき、川に人形を流す、「流し雛」の習慣ができました。今でも、五條市阿田町では有名な流し雛のお祭りがあります。

3日の給食にはちらし寿司が出ました。ちらし寿司の具に入っているものには理由があります。海老・・・海老のように腰が曲がるまで長生き。れんこん・・・見通しのいい人生。豆・・・マメに働くということを願って、食べるらしいです。

令和2年度も残すところあとわずかとなりました。いたらないところもたくさんあったと思います。本校教育にご理解とご協力を賜りましたこと、職員一同、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。1・2年生の保護者の方々には、来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

